



富士ワイズメンズクラブは「**社会を明るくする運動富士市推進委員会**」の加盟団体です

国際会長主題	ウルリック ラウリドセン	輝かそう あなたの光を
アジア太平洋地域会長主題	シェン・チ・ミン	新しい時代とともに、エレガントに変化を
東日本区理事主題	佐藤 重良	未来に向けて今すぐ行動しよう
富士山部部長主題	前原 末子	広めよう 地域社会にワイズの理念と奉仕を！
富士クラブ会長主題	菊池 初彦	素晴らしいワイズ！！

会長	菊池初彦
副会長・会計	吉澤廣美
書記	増田 隆
副書記	仁藤斎浩
直前会長	小澤嘉道
担当主事	金井 淳

2023年 4月 会報

4月強調テーマ
W4W
RBM

★2023年4月例会★

と き 2023年4月12日(水) 18:30～
と ころ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
受 付 増田 隆君
司 会 岩辺富雄君

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 開会点鐘 | 菊池初彦会長 |
| 1. 開会の挨拶 | 鈴木靖巳君 |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条 | 司会 |
| 1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和 | |
| 1. 会長挨拶 | 菊池初彦会長 |
| 1. ゲスト・ビジターの紹介 | 菊池初彦会長 |
| 1. 食前の感謝 | 仁藤斎浩君 |
| 1. マイタイム | |
| 1. 誕生日 | |
| 1. 各委員会・書記・会計・事務局報告 | |
| 1. 出席率・スマイル・CS基金報告 | |
| 1. 閉会の挨拶 | 吉澤廣美君 |
| 1. 閉会点鐘 | 菊池初彦会長 |

例会終了後役員会を開催します

4月 Happy Birthday

該当者なし

巻 頭 言

富士クラブの維持を考察する。

漆畑 義彦

ボランティア活動の基礎は予算です。頭数って本来意味ないのではないか、弱小クラブはメンバーの獲得、それにもまして現状維持が大切である、やれる人、やる気のある人、そしてやる人の数こそが大事ではないか。

地域の連帯感の薄れと人間関係の希薄化が進み、自己中心的な考え方が横行してきた昨今、クラブ内の連携がより大事である。富士クラブは幸いにしてよく連携が取れています。高齢者の能力をいかに活用するかが問われる時代です。

リモート・メール・Fax と手段には事欠かないが電話作戦はどうだろうか？電話の声を聴くとなぜか心温まるのは、病気のためか、年を取ったからか。

通信手段は今までどうりで、1人でも2人でも電話の声掛け作戦を心がけたいと思っているこの頃です。

外山氏曰く大人は一日にしてならず。

3月例会報告

在籍会員	13名	例会出席者	9名	スマイル基金	9,000円	CS基金	円
休会会員	1名	出席率	75%	スマイル累計	72,000円	CS累計	700円
担当主事	1名	ゲスト	2名	ビジター	名	総出席者	11名

3月例会報告

3月とはいえ、まだまだ朝晩の寒さは身に伝わる今日この頃です。我が富士クラブは年が明けてからいろいろな事業や行事が続きお疲れ様でした。ありがとうございました。中学生サッカー大会が終わりメンバーの皆様も一息ついたところではないかと思えます。仁藤君の司会により、3月例会が開催されました。吉澤副会長の開会点鐘に続き高野君の開会の挨拶があり、プログラムは進行し、本日の卓話者の富士市シルバーセンターの渡邊事務局長と増田事務局長が紹介され、渡邊局長が富士市シルバー人材センターの経緯と事業の説明がありました。富士市シルバー人材センターは昭和55年に静岡県で初めて設立されたそうです。センターに登録されている会員は1,237名（令和3年末現在）でそのうち男性会員は900人、女性会員は337人で27.2%は県内でも少ないそうです。もう少し女性会員を増やしたいそうです。会員の平均年齢は74.4歳だそうです。事業実績において令和3年度は約5億円ありそのうちの約90%は請負・委任事業で、健康で働く機会が欲しいという会員に、臨時的かつ短期的または軽易で高齢者に向けた安全な仕事を紹介し、さらにボランティア活動など社会貢献に役立つ事業の企画、運営、実施も行っているそうです。中には様々な資格・経験・特技を有する会員もいて、そのような人材を求めている事業所とのハイスキルマッチング事業も最近増えてきているそうです。今回の卓話は充実した内容でもう少し時間が欲しかったですね。閉会の挨拶で仲澤君が、久しぶりにいつもの富士ワイズメンズクラブらしい例会だった、という言葉が印象的でした。

（書記 増田）



吉澤副会長の開会の挨拶



今月の卓話者の渡邊富士シルバーセンター事務局長です。

3月役員会報告

報告事項

1. 中学生サッカー大会

3月4日（土）・5日（日）に富士川河川敷グラウンドにおいて開催されました。5日は午後よりあいにくの雨模様になり決勝戦は雨中の戦いとなり、吉原第一中学校が富士中学校を2-0で下し優勝しました。

2. 次期クラブ会長部役員研修会

1日目は吉澤次期会長と増田次期富士山部主査が参加しました。2日目は中学生サッカー大会があるので欠席しました。

3. 使用済み切手の件

集まった切手は、東日本区次期クラブ会長研修会の会場に増田君が直接持参しました。

4. 次期富士クラブ三役（案）

吉澤次期会長より次期三役（案）の発表がありました。次々期会長には入会2年目の仁藤君が快く承諾していただきました。

次期会長	吉澤廣美君
次々期会長	仁藤斎浩君
書記	高野 亨君
会計	小澤嘉道君

審議事項

1. 井上君の近況報告

本人の希望は、まだ富士ワイズメンズクラブを退会したくないとのこと。その希望に沿うためには「休会」という選択を、全員で決めさせていただきます。

2. トルコ・シリア大地震緊急支援募金について

全員一致で3万円募金することに決まりました。

3. これからの富士クラブについて

どこのクラブも抱えている会員の高齢化、会員の減少傾向、新入会員がなかなか入らない等々、いろいろと厳しい意見も出ましたが、クラブを維持するかどうかではなく、現状をよく見つめて、ワイズ活動に対してもっと前向きに取り組んでいくことが大切ではないか、という意見も出ました。先頃の4か月にわたる「環境美化標語募集」の一連の活動や、2日間に及ぶ中学生サッカー大会も会員が一致団結すれば、あのような大きな活動も、今は小さくなった富士クラブでもできることを証明した良い例ではないでしょうか。これからもコロナに恐れずコツコツとワイズ活動を積み重ねていくことが重要ではないでしょうか。



あきらめない

増田 隆

先頃の新聞に三島南高校の野球部が近くの保育園児たちと「野球教室」を開催した、という記事が載っていました。三島南高校野球部はこのような子どもたちとふれ合い、スポーツを通じて野球の楽しさを肌で感じ取ってもらうような普及活動を数年前から何回も実施しているそうです。このような地道な活動が認められ、秋季県大会の成績も良かったので3年前、選抜甲子園大会に二十一世紀枠で初出場したことは記憶に新しいと思います。2年ほど前からは地元の富士高校の野球部も近隣の保育園児たちに「野球教室」を開催していると新聞に載っていました。私たちの年代ではおおよそ男の子の遊びは近所の広場で三角ベースの野球をして日の暮れるまで遊んだものでした。遊びが野球というように日本では野球は歴史あるスポーツです。時代の流れで、スポーツも多様化してきました。それに加え少子化の傾向にある現在、団体スポーツの野球は部員が集まらなくて連合チームで出場する中学校や高校が目につくようになりました。4月2日春季高校野球東部大会があり吉原工業高校と熱海高校が連合チームで試合をしていました。高校野球もそうですが、小学生の野球スポーツ少年団も少かりです。私の地元の設立45年の歴史と伝統があった「元吉原野球スポーツ少年団」は昨年団員が集まらなくて解散しました。このスポーツ少年団の設立に携わった者として誠に残念でした。このように日本全国どこでもこのような傾向にあるようです。この現状を野球関係者はいろいろな場面で子供たちに野球の楽しさを伝えています。冒頭の三島南高校や富士高校の野球部員たちによる子供たちへの野球教室も野球を通じて子供たちとのふれ合いもありますが、この中から1人でも多く将来野球をやってもらいたいがため一生懸命になり子供たちとふれ合っている姿には頭が下がります。あのイチロー選手も野球を通じて子供たちにスポーツの良さを知ってもらおうと全国を回って指導をしているそうです。そのようなことから、先日富士高校に突然イチロー選手が訪れて部員に指導を行いました。富士高校野球部の日頃の行動がイチロー選手を動かしたことだと思います。そしてまだ興奮冷めやらないWBCの侍ジャパンの活躍は、野球の楽しさや日本の野球のレベルの高さ（技術面ばかりでなく、精神面において）を世界に知らしめたと思います。そして日頃野球に関心のない人たちまでが一打一打に興奮し、優勝の場面においては最高潮に達しました。その後のインタビューにおいてダルビッシュ選手、大谷選手、栗山監督たちが口をそろえて、今回のWBCを見た子供たちが1人でも多く野球に関心を持ってもらえたら嬉しいと言っていたことが印象的でした。熱しやすく冷めやすい日本人がいつまでこの興奮が続くのでしょうか。少子化に伴うスポーツ人口の減少が予想されますがスポーツの良さを向上させるには子どもだけでなく、より多くの人たちを魅了することが不

可欠ではないでしょうか。今回のWBCの優勝は野球人口のすそ野を広げたと同時にスポーツの楽しさを教えてくれたと確信しました。野球もそうですが、私たちのワイズメンズクラブも毎年会員が減少の一途をたどっています。日ごろから地域において活動する際は1人でも多くの仲間を誘い一緒に活動し、楽しさを分かち合うことにより、ワイズメンズクラブの良さに関心を持っていただき、入会していただいたらありがたいことですね。会員募集もあきらめないことが大事なことだとWBCを通じてつくづく感じました。



©DESIGNALIKIE

第27回

富士ワイズメンズクラブ杯争奪

富士市中学生サッカー大会

富士ワイズメンズクラブ杯中学生サッカー大会（富士ワイズメンズクラブ・富士市サッカー協会主催、富士市教育委員会など後援）が3月4日・5日の2日間、富士川河川敷サッカー場で開催されました。例年は県中東部からチームを招待していますが、新型コロナウイルスの影響により招待しないで市内の中学校15チームとクラブ1チームが出場し、トーナメント戦で白熱の試合を繰り広げました。今大会は試合を通じた各チームの技術向上を図るため、初戦で敗退したチームも順位決定戦を行いました。

試合結果（全試合掲載）

1回戦

富士南 7 - 1 吉原東
 吉原二 0 - 0 田子浦 (PK 4 - 3)
 富士 9 - 0 元吉原
 須津 2 - 1 岩松
 吉原一 3 - 0 岳陽
 FCFuji 4 - 0 吉原三
 大淵 7 - 0 吉原北
 鷹岡 6 - 0 富士川一

2回戦

富士南 8 - 0 吉原二
 富士 0 - 0 須津 (PK 3 - 0)
 吉原一 2 - 0 FCFuji
 大淵 0 - 0 鷹岡 (PK 4 - 3)

13-16位決定戦

元吉原 2 - 0 吉原東
 吉原三 2 - 1 吉原北

⑬吉原三 1-0 元吉原⑭

⑮吉原北 2-0 吉原東⑯

9-12位決定戦

岩 松 3-0 田子浦

岳 陽 2-0 富士川一

⑨岳 陽 2-1 岩 松⑩

⑪田子浦 2-0 富士川一⑫

5-8位決定戦

須 津 2-0 吉原二

FCFuji 3-0 鷹 岡

⑦鷹 岡 3-0 吉原二⑧

⑤FCFuji 4-0 須 津⑥

準決勝

富 士 3-1 富士南

吉原一 1-0 大 淵

3位決定戦

大 淵 3-0 富士南

決勝戦

吉原一 2-0 富 士

吉原一中の優勝おめでとうございます。

今月の強調テーマ

W4W (Week 4 Waste=ゴミのための週)

国際協会によって 2020-21 年度に開始された。ワイズメンズクラブと地域社会を結び付け、よりクリーンな地球を目指して統一的に行動する地域奉仕事業のキャンペーン。活動の多くは、毎年4月22日のアースデイ(地球の日)のある4月と、世界最大の市民運動のひとつであるワールドクリーンアップデイ(毎年9月中旬)に合わせて行われる。

RBM (Roll Back Malaria=ロールバックマラリア)

1988年にWHO、ユニセフ、UNDP(国連開発計画)、世界銀行等が始めた世界的規模のマラリア撲滅キャンペーン。正式名称は「ロールバックマラリアパートナーシップ」であったが、現在は「マラリア終結のためのRBMパートナーシップ」に名称変更されている。ワイズメンズクラブ国際協会は、世界YMCA同盟、グローバルファンド、英国のFCDO(外務・英連邦・開発省)と提携・協働してこれに取り組んでおり、国際献金の献金種目のひとつとして取り組みへの資金作りを行っている。

(2022-2023 東日本区ハンドブックワイズ用語より)

東日本区大会に参加しよう♡

区大会は、各クラブの会員が情報を交換し、連帯と協力を深める場所です。1年間の活動報告やそれらに対する表彰もあります。今年は甲府21クラブがホストクラブとなり、アピオ甲府を会場に開催されます。隣の県での開催ですので万障お繰り合わせの上、コロナ禍で失われたワイズ感覚を取り戻すためにも奮って参加しましょう。



青空に咲きほこるハクモクレン(富士市役所付近)

富士山YMCAだより

富士山 YMCA 金井 淳

この度、腐食が進んでいたメインホールのウッドデッキがリニューアルします。雄大な富士山と駿河湾の絶景を一望できるテラスが生まれ変わります。3月中旬に完成予定です。おしゃれで機能性の高いアウトドア用品のブランド「PEACEPARK」とのコラボレーションで提供いただいたアウトドアチェアを持ち込み富士山YMCAの大自然をお楽しみください。



富士山YMCAの桜と富士山の雄姿。

クリーン作戦

富士クラブ恒例のクリーン作戦が2月12日に開催されました。メンバー8人が参加してロゼシアターから富士市役所前まで約1時間汗を流しました。今回は新しい「環境美化標語」6枚の設置作業をかねての清掃活動で



した。新装なった12の美化標語が富士市のメイン道路に掲示されました。この標語を見て環境美化意識が少しでも高まれば町も心も美しくなるでしょう。